

古美術 天平堂



海外のオークションへも自ら足を運ぶ天平堂店主・今林崇さん

ホテルオークラ福岡のすぐ隣りに店を構える「天平堂」。小倉で三十年以上に亘り愛され、昨年十月に博多へと移店しました。古美術と聞くと思いが強く感じられますが、店内は広々とした空間で、初めての人でも訪れやすく明るい雰囲気。古伊万里や鍋島、古唐津の名品が多く展示販売されています。当時の技術の粋を集めて制作された古陶磁。店主の今林崇さんは、こうした美術館で鑑賞されるような名品をぜひ身近に見てほしいと語ります。「例えば鍋島焼は、献上品として門外不出の技術が徹底的に高められ、将軍家や多くの大名たちに珍重されました。そうした歴史の中で生まれた名品は、佇まいや雰囲気にも独特の凛とした空気が生まれます。美術館のガラス越しではなく手に触れ間近に見ることで、その魅力を感じていただきたいですね」と今林さん。また、千利休をはじめ多くの文化人に愛玩された茶道具、人間国宝に代表される現代巨匠の手による観賞陶器など、今林さんがプロの厳しい目で選んだ作品が並びます。「美しいものに触れることは、心を豊かにすること。小さなことでもお気軽にお尋ねください。」

古くから大陸文化の玄関口としての機能を果たしてきた博多。この地に暖簾を掲げ日本の伝統美術を発信することは、文化の継承や未来につながるかと考える今林さん。三月二十五日には、ホテルオークラにて書家の財前謙氏を招いての講演会と、茶道具を使った呈茶席を楽しむ会を開催します。これまで茶道と縁がなかったという方も、日本文化に親しむ春の一日を過ごしてみませんか？



第1回 普門会

【日】3月25日(日)
 【所】ホテルオークラ福岡
 【一部】呈茶席(点心は希望により)
 11:30~14:30
 【二部】財前謙氏講演会
 「博多・禅林園跡の茶た街」
 15:00~17:00
 【料】13,000円(点心付)
 10,000円(呈茶席と講演)



■古美術 天平堂
 (所)博多区下川端町10-12
 三善ビル1層(ホテルオークラ福岡隣)
 (営)10:00 ~ 19:00
 (休)不定休